



アフリカ日本協議会 (Africa Japan Forum)

# 2021年度 活動報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

## アフリカンキッズクラブ

アフリカルーツの子ども・ユースが集い、楽しみ、経験や思いを共有する

01



2021年4月25日東山動物園へ遠足（アフリカンキッズクラブ東海）



2021年9月5日オンラインイベント「自分のヘアについて知ろう！」



2022年2月13日のバレンタインイベント

アフリカンキッズクラブでは、「自分のヘアを知ろう！」「バレンタインデー」「ママ会」など10回のイベントをオンラインで実施しました。アフリカンキッズクラブ東海では、東山動物園への遠足を実施。また、アフリカンキッズクラブ関西が8月に発足し、東海と関西が合同で「ハロウインパーティー」をオンラインで実施しました。ネットワークづくりや情報交換も積極的に行い、参加者は楽しみながら交流し、経験や知識、悩みを共有することができました。



ユースのメンバーが企画したさまざまなイベント

02

## 在日アフリカ人との連携・支援

アフリカにルーツをもつ人びとが安心して生活できる社会を実現する

「日本で暮らすアフリカにルーツをもつ人びとが、差別や排除されることなく安心して生活し、人権が尊重される社会を実現する」。そのために、在日アフリカ人の皆さんと勉強会・交流会や、アフリカへの理解を深める活動を行っています。

2021年度は、在日アフリカ人コミュニティと連携・協力し、オンラインセミナー・イベントなどをを行い、アフリカへの理解を促し、交流を広げました。また、在日アフリカ人のニーズに応え、情報提供や情報交換を行いました。市民団体が連携して活動する「移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)」や「なんみんフォーラム」に参加し、生活に困難を抱える難民・移民への支援、人権擁護や政策提言、他団体へのアフリカに関する情報提供等を行いました。

# グローバルヘルス

三大感染症対策・保健システムの強化に向け、当事者・市民社会が連携する

03

2000年代のはじめより、アフリカの市民社会とともにHIV/エイズへの取り組みを開始して以来、国際保健に関する政策提言や、イベント開催、情報発信などを行っています。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症について、他団体とのネットワーク「**新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！連絡会**」の事務局を務め、医薬品アクセスと知的財産権の問題について、5回のウェビナーを開催。ウェビナー参加者は毎回100名を超える、関連資料の翻訳などを行い、広く発信しました。社会的な認知が広がり、医薬品アクセスと知的財産権の問題についてメディア等でも取り上げられ、専門家などによる政策面での検討も行われるようになりました。さらに、連絡会では、日本政府と複数回会合を行い、要請書を提出しました。

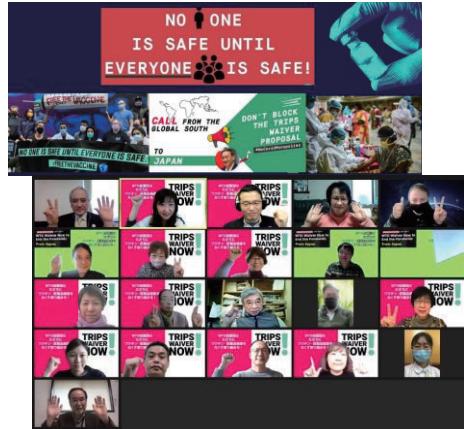
また、すべての人が必要とする質の高い保健・医療サービスを受けることができる**ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）**への取り組みでは、特に脆弱な立場の人びとのUHC進捗状況について、当事者団体の協力の下に調査を行い、報告書を発表しました。UHC達成に近いといわれる日本においても、保健・医療にアクセスが難しい人びとの状況とその障壁があきらかになり、報告書の内容は国内外で大きな反響がありました。また、UHCを推進する国際的な調整機関「**UHC2030**」の先進国市民社会代表運営委員を務め、他の市民社会代表運営委員とともに、UHC2030運営における市民社会の影響力を強化し、事業への当事者の参加拡大に努めました。

三大感染症対策に資金を拠出する「**グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）**」は、2022年に第7次増資会合を控えています。増資に向け、各国の在日大使館と情報交換を行い、各大使館と市民社会のつながりを作ることができました。また、市民社会におけるグローバルファンドについての認知を広げることができました。

日本政府の**新グローバルヘルス戦略策定**に関わり、国際保健の優先順位向上を提唱しました。また、ウェビナーの開催を通じて、海外市民社会と日本政府の対話の機会を作りました。

NGOと外務省の間で、地球規模の保健医療分野の課題について協議し、連携強化を促進する**GII/IDI懇談会**のNGO連絡会代表を務め、政府とNGOの対話を促進しました。また、COVID-19に関するグローバルな政策の最新情報を取り扱う意見交換会を毎月開催したほか、トピックを絞った勉強会を10回開催。能力強化の機会になりました。

最新のコロナ情報とグローバルな市民社会の声を届けるため、**ブログ「国際保健とCOVID-19」**を執筆し、メールマガジン「**グローバル・エイズ・アップデート・プラス**」などで定期的に発信。タイムリーなテーマで、多くのアクセスを集めました。



「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！連絡会」では、オリンピックやオミクロン株出現などタイムリーな話題と絡めて問題を提起した



UHCの課題について国内外の市民社会と連携して、ウェビナーを開催



UHC進捗調査報告書（左）は日本語と英語で発表。右はUHC市民社会報告書

# 食料と農業

農民の生活と飢えの仕組みを知り、ともに考え、行動する

04

食料問題に対するアフリカの人びとの取り組みに対し、日本にいる私たちがどのように支援・協力できるのかを考えるため、イベントや情報発信を行っています。世界の食料問題の現状を伝えるため、**FAOのレポートを翻訳する学習会**を定期的に行い、ウェブサイトで発信。また国連食糧農業機関(FAO)や他NGOと一緒に「**世界食料デー**」月間の取り組みを行っています。

「世界食料デー」月間2021では、横浜市資源循環局とも協力した食品ロス削減に向けたオンラインセミナーなどを開催。のべ100人以上が参加しました。



「世界食料デー」月間のチラシを学校などに配布

05

# 熱帯林と野生生物保全

アフリカ熱帯林と野生生物の課題について発信する

アフリカ中央部にある**コンゴ盆地**は、世界有数の貴重な熱帯林が広がっています。AJFは、同地における自然環境や野生生物、またその地域で暮らす先住民族と呼ばれる人びとの生活を取り巻く課題について、ウェブサイトでの発信や講演などを通じ、情報発信と普及活動を行っています。

2021年12月に、**熱帯林・ヨウム保全セミナー**「コロナ禍で密猟は増えたのか減ったのか、森林は保全してきたのか否か？～ヨウムやマルミミゾウなどコンゴ共和国の事例より」をオンライン開催。100名以上の参加者に、課題の解決に向けて何ができるか考える機会を提供しました。また、**ヨウム保全普及チラシ**を配布し、アフリカ熱帯林および野生生物保全に関する記事を紹介しました。



[12月15日 水曜日 19:00～20:00]

12月15日に開催したセミナー

# 日本の対アフリカ政策への提言活動

市民社会として、アフリカの人びとの声を届ける

06

1993年の第1回東京アフリカ開発会議(当時)への取り組みを契機に設立されたAJFは、国内外の市民団体・個人と政策提言、アフリカ開発会議(TICAD)本会議への参加支援、サイドイベントの開催、外務省との連絡調整等を行ってきました。

2022年にチュニジアで開催される**第8回アフリカ開発会議 (TICAD 8)**は、不確定要素が多いうえ透明性も低く、市民社会として積極的に取り組める環境ではありませんでした。そんななかでも、外務省、国連開発計画(UNDP)との連絡窓口を務め、マルチセクタル会合では、アフリカの市民団体への情報提供やUNDPとの調整を行い、日本市民団体の代表として総括発言を行いました。

また、2021年度は、「**西サハラ友の会**」と協力し、西サハラの現状に関するウェビナーを2回開催。西サハラの問題について広く伝え、理解を深めてもらいました。またTICADへの西サハラ問題の提起について検討しました。



西サハラの資源問題について7月10日にウェビナーを共催

# アフリカ理解促進

07

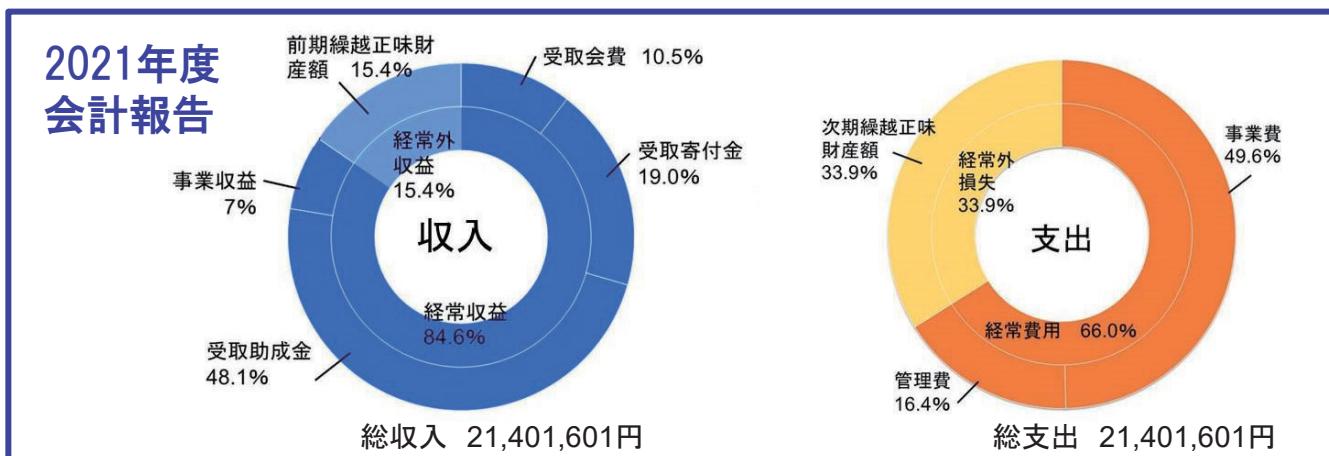
アフリカから学ぶ、考える、発信する

『アフリカNOW』は、会報として1994年8月に創刊準備号を発行し、現在119号まで発行しています。多彩な執筆者により、AJFの活動やアフリカと日本に関する記事を掲載。2021年度は3回発行しました。また、AJFのウェブサイトに『アフリカNOW』の各号の目次を掲載し、希望者に販売しています。さらに、発行日から一定の期間をおいてウェブサイトで記事を公開。アフリカへの理解の促進をめざしています。

また、立命館大学生存学研究所とAJFは、アフリカ関連情報アーカイブの構築・公開で協力しています。AJFでは、主に日本のメディアが報じている多様なアフリカ関連情報を、毎月紹介しました。



2021年9月、12月、2022年3月に発行



▶アフリカの人びとと共に活動する仲間として、AJFの活動を支援してください

## 会員

AJFの会員になって、アフリカとのネットワークを広げませんか？ 学生やアフリカに関心を持ち始めた方も歓迎です。

詳細・お申し込みは、<https://ajf.gr.jp/join/> をご覧ください。



AJF入会案内

## 寄付

みなさまからのご寄付で活動がさらに充実します。あたたかいご協力をお願いします。

以下のいずれかの口座にお振り込みください。クレジットカードの場合は右記QRコードからアクセスするか <https://kessai.canpan.info/org/ajf> をご利用ください。

【郵便振替】00120-3-573276 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

【銀行口座】三菱 UFJ 銀行上野支店（普）5305887 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

※銀行口座への振り込みの場合は、info@ajf.gr.jp までご連絡をお願いします。



クレジットカード  
入力画面

## 連絡・問い合わせ先

### NPO法人 アフリカ日本協議会 (AJF)

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル3階

E-MAIL : info@ajf.gr.jp / TEL : 03-3834-6902

<https://ajf.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/Africa.Japan.Forum/>

[https://www.instagram.com/africa\\_japan\\_forum/](https://www.instagram.com/africa_japan_forum/)

<https://twitter.com/AfricaJapanF>